

# 2011年度活動報告書

三輪眞弘 / 教授、研究科長

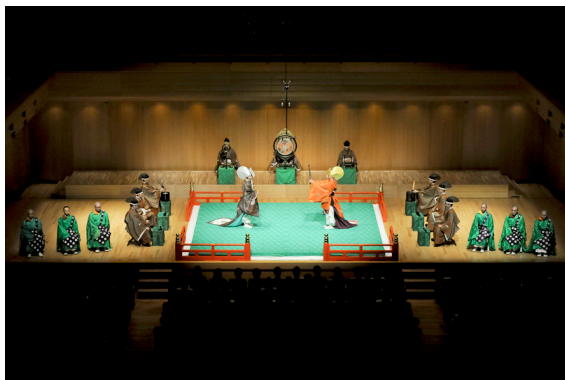
## 今年度の活動

今年度は、サントリー芸術財団によるオーケストラのための新作委嘱を含む「作曲家の個展 三輪眞弘」コンサートのための作曲と発表が個人的にはもっとも負担の大きな学外における活動だったが、その他にも雅楽を含む旧作の再演やコンクールの審査員、また、シンポジウムや招待講演など様々な活動を行った。また、学内においては学内の体制が新年度に向けて大きく変わりつつある今期に研究科長に就任したため、学校運営に関わる活動が前年度までと比較して飛躍的に増加した。

## 学外での活動

### 作品発表

- ・ 6/19 東京オペラシティ 「雅楽の未来 奇跡の聲明」で舞楽「算命楽」（聲明付）を日本初演。
- ・ 7/26 品川よしもとプリンスシアター「ストレンジ・ボイス 奇妙な声の実験室」で「NEO都々逸」、「せんだいドドンパ節」を再演。（フォルマント兄弟作品）
- ・ 9/18 栃木県立美術館「作曲家 三輪眞弘の世界」で、弦楽四重奏曲八長調「皇帝」、弦楽六重奏曲「369 Harmonia II」を再演。
- ・ 10/ 2 サントリーホール《作曲家の個展2011 三輪眞弘》で新作 "Lux aeterna luceat eis, Machina" for orchestra and CD player を世界初演。ガムランアンサンブルのための「愛の讃歌」、オーケストラのための「村松ギヤ・エンジンによるポレロ」を再演。
- ・ 2012. 1/14 名古屋、しからわホールで舞楽「算命楽」再演。
- ・ 1/29 栃木県総合文化センターで舞楽「算命楽」再演。
- ・ 3/ 3 神奈川県立美術館葉山館で「ぼっくり きのかつ」世界初演。（フォルマント兄弟作品）



舞楽「算命楽」(2011) 東京オペラシティコンサートホール



フォルマント兄弟「ぼっくり きのかつ」初演

## 講演、その他

- ・ 6/25 名古屋ナディアパーク、「ブランディングアウト IAMAS in Nagoya」でチームラボの猪子寿之氏とトークイベント参加
- ・ 7/23 京都芸術センター、岡田暁生氏、吉岡洋氏とシンポジウム「3・11—芸術の運命」で鼎談
- ・ 11/11 トッパンホール、JFC作曲賞本選会審査
- ・ 12/ 9~12 首都大学東京日野キャンパス、インターカレッジ・コンピュータ音楽コンサート
- ・ 12/11 首都大学東京、第93回情報処理学会音楽情報科学研究会で特別講演「アルゴリズムック・コンポジションの（不）可能性」
- ・ 12/25 サラヴァ東京、日本電子音楽協会(JSEM)主催 「たいせつな人と聴く電子音響音楽」

## 教育活動

- ・ 6/16 東京藝術大学芸術情報センター「芸術情報特論」講義「いま中部電力芸術宣言について考える」
- ・ 9/13, 20 国立音楽大学ワークショップ、またりさま「対称形姉」を実演
- ・ 11/15 洗足学園音楽大学特別講義（曾我部清典氏と音楽史の授業）
- ・ 12/16, 22 愛知県立芸術大学特別講義

## 出版

- ・ 楽譜：オーケストラとCDプレーヤーのための「永遠の光・・・」("Lux aeterna luceat eis, Machina" for orchestra and CD player)。マザーアース出版 M0118 初版発行：2011.10.1
- ・ CD：箏篋のための「蟬の法」。西陽子（箏）「月夜の海」（パンセ・ミュージック PANU-7011)に収録。発売：2011.11.9

## パブリケーション

- ・ 新聞：鷺見一郎「音楽は世界映し出すもの」クラシック・舞踏記事、読売新聞 2011.6.14
- ・ ウェブ動画：東京藝術大学芸術情報センター「芸術情報特論」 「いま中部電力芸術宣言について考える」（講義）Ustream動画アーカイブ <http://www.ustream.tv/recorded/15413559>
- ・ ウェブ：webDICE「骰子の目」駒井憲嗣「DICE TALK インタビュー」2011.9.18  
<http://www.webdice.jp/dice/detail/3220/>
- ・ 新聞：松平あかね「動物たちへのレクイエム」コンサート評、読売新聞 2011.10.4
- ・ 雑誌：佐々木敦、批評時空間 音楽の外について 「作曲家の個展 2011 三輪真弘」月刊《新潮》12月号
- ・ 雑誌：「3.11芸術の運命」 京都芸術センターで行われたシンポジウム全記録、及び「中部電力宣言について」を寄稿。季刊《アルテス》創刊号 2011.11.
- ・ 新聞：松本良一、清川仁「災後の風景9・音楽」に写真入りでインタビュー記事が掲載される。読売新聞文化欄 2012.3.20



「永遠の光・・・」(2011) 楽譜



読売新聞コンサート評

## そのほか

- ・ 音楽情報科学研究会(SIGMUS)運営委員
- ・ インターカレッジ・コンピュータ音楽コンサート・ワーキンググループ(ICWG)代表
- ・ 日本電子音楽協会(JSEM)副会長
- ・ 日本作曲家協議会(JFC)理事
- ・ 第6回JFC作曲賞審査委員長
- ・ 平成23年度文化庁メディア芸術コンソーシアム/デジタルアーカイブ事業メディアアート分野会議出席

## 学内での活動

- ・ 担当授業：音響構成特論、特別研究（修士作品、論文指導）、学内プロジェクト
- ・ プロジェクト：
  - 新しい時空間における表現研究
  - 学内プロジェクトとして赤松教授、前田准教授と共に学生作品の指導、オープンハウスでの発表、また新年度に向けたイベントの企画などを行った。
- ・ MIDIアコーディオンによる合成音声の発話及び歌唱の研究（科学研究費補助研究）
  - 名古屋学芸大学の佐近田展康教授と共に「フォルマント兄弟」としてMIDIアコーディオンを使った人工音声のリアルタイム制御による歌唱、発話のためのシステムを開発し、学外で成果発表を行った。
  - <http://www.iamas.ac.jp/kaken/formant/>
- ・ 個人プロジェクト（作曲、執筆活動ほか）：「学外での活動」を参照。
- ・ 発表：
  - 情報科学芸術大学院大学紀要、第3巻2011年の特集「三輪眞弘教授の芸術選奨文部科学省受賞を祝す」へ 第93回情報処理学会音楽情報科学研究会で行った特別講演の原稿を改定した「アルゴリズムック・コンポジションの（不）可能性 - IAMAS Art Laboratory (a.Labo) 創設に向けて -」を寄稿。
- ・ 学内での役割：
  - 教務委員ほか、スタジオ（2）ゼミのとりまとめ、IAMASの新体制に向けた組織再編、校舎移転、ソフピア地区での活動などについて研究科長として教員ミーティングの開催や、a.Labo設立準備など様々な活動を行った。